



日本文学紀要

息長氏と風の信仰	升田 淑子	1
——「虚・空」と神話的世界観——		
万葉殯宮歌考	烏谷 知子	11
——宮遷りの表現を中心に——		
『しのびね』論補遺	大倉比呂志	25
朝顔・少女の巻の定位	茅場 康雄	33
主人公となった「少将」	久下 裕利	44
——古本『住吉』の改作は果たして一条朝初期か——		
兼好自撰家集の表現	齋藤 彰	63
——本歌取り歌にみる兼好の詠法——		
上西門院兵衛について（二）	高木 佳子	84
——詠歌資料集成——		
子規連句私解 獨吟百韻「灯ともさぬ」の巻	大島 富朗	94
其十四（三ウ四句七句）		
遠藤周作「ユリアとよぶ女」論	笛木 美佳	103
——「ユリア」の謎をめぐって——		
李益と中唐詩壇	市川 清史	113
日本語教育史（2）	高見澤 孟	(1)
西洋人と日本語の出会い		

日本文学研究会・平成十六年度大学院日本文学専攻修士論文
平成十六年度日本文学科卒業論文題目
執筆者紹介・編集後記

平成十七年一月